

今週（9月29日から10月3日）の短期金融市場動向

●無担保コール市場

今週の無担保コールO/N物は、引き続きビッドサイドの資金調達ニーズが堅調にみられ、レートは高水準での推移となった。週を通して大きな変化はなく、落ち着いた相場展開となったことから、加重平均レートは29日(月)～2日(木)まで0.477%の横這いで推移し、3日(金)も概ね同水準での取引が中心となった。

ターム物に関しては、1～2W物で0.48～0.55%程度で出会いが散見された。10月や12月の決定会合を跨ぐ2～3M物では、オファーとビッドの目線が大きく乖離しており、閑散とした状況となった。

日銀当座預金残高は、週初503兆円程度から始まったが、税揚げや国債発行などにより減少傾向となったことから、3日(金)には492兆円程度での着地見込みとなった。

●債券レポ市場

今週のGC O/N物は、0.30～0.50%程度で推移する展開となった。

SC取引の個別銘柄では、2Y470～477回、5Y170～180回、10Y355～380回、20Y180～193回、30Y65～87回、40Y10～18回などで引き合いが多く見られた。

●短国市場

今週の短国市場は、3Mゾーンが軟調に推移した。

3日(金)に実施された3M物入札は甘い結果となり、結果発表後のセカンダリーでは、特段の出会いは見られなかった。

●CP市場

今週のCP市場は、電気・ガス、石油・石炭など、複数の業態で大型発行が行われた。

市場残高は、前週末時点では24.3兆円程度あったが、四半期末の有利子負債圧縮の影響により、30日(火)には21兆円台まで減少した。しかし、期明け後は再び緩やかに増加する展開となった。

発行レートは、引き続き0.5%以上で推移し、銘柄や期間により投資家の運用目線にばらつきがみられた。

●短期金融市場関連指標

	日経平均株価 (円)	新発10年国債 利回り (%)	為替 (ドル/円 中心相場)	無担保コールO/N (加重平均・%)	東京レポレート (T+1 ON・%)	日銀当座預金残高 (億円)
9/29 (月)	45,043.75	1.640	149.12	0.477	0.380	5,032,100
9/30 (火)	44,932.63	1.645	148.83	0.477	0.493	5,021,200
10/1 (水)	44,550.85	1.645	148.13	0.477	0.493	4,987,900
10/2 (木)	44,936.73	1.669	147.17	0.477	0.491	4,948,400
10/3 (金)	45,769.50	1.660	147.32	0.477	0.494	4,924,700

来週（10月6日から10月10日）の短期金融市場動向

●経済カレンダー

	国内主要経済指標	国債等入札予定		海外主要経済指標
10/6 (月)				
10/7 (火)	8月の全世帯家計調査(総務省 8:30) 9月のマネタリーベースと日本銀行の取引(日銀 8:50) 8月の景気動向指数速報(内閣府 14:00)	30Y 10/8発行 7,000億円		8月の米貿易収支 8月の米消費者信用残高
10/8 (水)	8月の毎月勤労統計調査速報(厚生労働省 8:30) 8月の国際収支(財務省所管・日銀作成 8:50) 9月の景気ウォッチャー調査(内閣府)			
10/9 (木)		TDB 6M 10/10発行 35,000億円	5Y 10/10発行 24,000億円	エネルギー-借入 10/20借入 6,367億円
10/10 (金)	9月の企業物価指数(日銀 8:50)	TDB 3M 10/14発行 43,000億円		9月の米財政収支 10月のミシガン大消費者信頼感指数速報

●資金需給予想

単位：億円	銀行券要因	財政等要因	資金過不足	オペ種類	期日分	新規実行分	オペ合計	実質過不足	需給要因
10/6 (月) 日銀予想	700	900	1,600	国債補充	1,300		1,300	2,900	恩給 TB3M発行▲43,000 償還43,000
10/7 (火) 弊社予想	1,000	2,000	3,000				0	3,000	
10/8 (水) 弊社予想	1,000	▲ 15,000	▲ 14,000				0	▲ 14,000	30Y発行▲7,000
10/9 (木) 弊社予想	▲ 500	3,000	2,500				0	2,500	
10/10 (金) 弊社予想	▲ 1,000	▲ 27,000	▲ 28,000				0	▲ 28,000	TB6M発行▲35,000 償還35,000 5Y発行▲24,000 交付税借入 ▲13,000 期日11,000
週間合計	1,200	▲ 36,100	▲ 34,900	—	1,300	0	1,300	▲ 33,600	

●短期金融市場の見通し

無担保コールO/N物は、引き続き資金調達ニーズの強い展開が見込まれることから、レートは0.477%近辺での推移が予想される。債券レポ GC O/N物は、参加者のスタンスに大きな変化がなければ、レートは0.48～0.51%程度の水準で推移することが予想される。短国市場は、9日(木)に6M物、10日(金)に3M物の入札実施が予定されている。CP市場は、8日(水)に五・十日発行が予定されており、発行案件がどこまで膨らむか動向が注目される。

主要なイベントは、国内では、8日(水)に8月の毎月勤労統計調査速報、8月の国際収支、10日(金)に9月の企業物価指数、海外では、7日(火)に8月の米貿易収支、10日(金)に9月の米財政収支などの発表が予定されている。

◆本資料は信頼できると思われる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。
◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目録見書をよくお読みください。

セントラル短資株式会社 登録金融機関関東財務局長（登金）第526号 日本証券業協会加入